

任應秋
于東京
元二零三年九月

奮來携醫日高步位
門共起學兩願的進
同手助國中提一

中医学は、長期にわたる実践の検証によって一定の科学的基礎をもつことが証明されている。現代科学を運用していかにより向上させるか、中日両国医学界が手を携え共同で奮闘することを願う。

中医臨床

CLINICAL JOURNAL OF CHINESE MEDICINE

■ 卷頭言 日中漢方医学交流の旅 矢数道明 3

■ 特集 中国における『傷寒論』研究

1. 任應秋教授に聞く 中国における『傷寒論』研究の流派	7
日本の『傷寒論』研究について	
2. 『傷寒論』の学び方	由 崑 11
3. 『傷寒論』をいかに分析するか	俞 長 榮 15
4. 范中林老中医の六経弁証カルテ選	范中林カルテ整理グループ 21
5. 小柴胡陽加減方の応用	劉 渡 舟 29

■ 方劑・「銀翹散」銀翹解毒片について 猪越恭也 35

 温病の第一方 — 「銀翹散」 周超凡 張静楷 37

■ 中国医学史 温病学説発展史 鄧 鉄 涛 41

■ 八綱弁証 現代医学から見た「八綱弁証」—病態生理学的分析

1. 「寒」「熱」とは何か?	候 燦 49
----------------	--------

■ 臟腑学説 「三焦」概念の検討とその臨床上の応用 重慶市中医研究所 57

中醫經時實驗宅一科礎運代 醫受期踐說具定學如用科 學長檢的明有的基何現學

第3号 [新春号](第1卷第3号) 1980年12月

■綜合レポート 中国30年の針灸研究 (その2:臨床研究)

王雪苔ほか 65

坐骨神經痛

■針灸臨床特集

- | | | |
|------------------------------------|-----|----|
| 1. 坐骨神經痛のハリ治療 318例 | 江有源 | 75 |
| 2. 刺針および穴位注射による
坐骨神經痛治療 118例の報告 | 吳旭初 | 79 |
| 3. 坐骨神經痛の磁氣療法 | 陳植 | 83 |
| 4. 坐骨神經痛の耳針治療 | 巨宝琦 | 83 |

■針灸コーナー

- | | | |
|----------------------|-----|----|
| 中医学理論に導びかれた針灸治療を | 陳劍勇 | 85 |
| 絡穴繆刺法の鎮痛効果 | 崔允孟 | 87 |
| 過誤刺針による外傷性総頸動脈瘤 | 陳世謀 | 89 |
| 下都穴刺針で頸部軟部組織の損傷を治療する | 康忠財 | 91 |
| 螺針穴による喉症の治療 | 潘冰心 | 91 |

■老中医經驗

- | | | |
|-----------------|--|----|
| 夏寿人老中医の臨床經驗 | | |
| 針灸六俞穴の心得 — 「委中」 | | 93 |

■中医臨床小説

- | | | |
|---------------------------|----|----|
| 鍾醫師の診断 — 第1回「傷寒方」をたくみに用いる | 明堅 | 96 |
|---------------------------|----|----|

表紙 市川寛志